

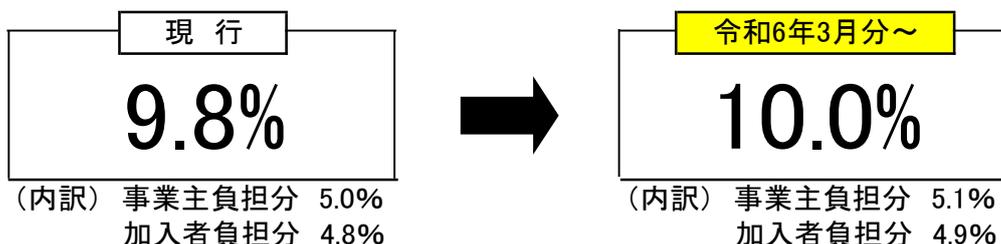
加入者の皆様へ

本年3月分（4月納付分）から
愛知紙商健康保険組合の保険料率が変わります

愛知紙商健康保険組合の財政は、保険料収入が伸び悩む一方で、少子高齢化と医療の高度化に伴って、保険給付費（医療費）と高齢者医療制度への納付金の支出は年々増え続けており、非常に厳しい状況となっています。

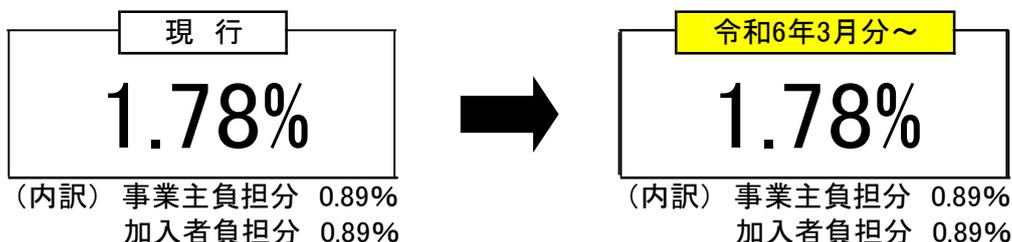
このため、愛知紙商健康保険組合の健康保険料率については、本年3月分（4月納付分）から、10.0%に引き上げを行わざるを得なくなりました。

健康保険料率



介護保険料率

※40歳から64歳までの方（介護保険第2号被保険者）は健康保険料に介護保険料が加わります。



現下の中小企業の厳しい経営環境や家計の状況、また景気の先行きも不透明の中ではありますが、加入者の皆様の医療と健康と生活を支え、安心して医療のサービスなどを受けることができるよう、このようなご負担につきまして、何とぞご理解をいただきますようお願い申し上げます。

ご不明な点がございましたら、愛知紙商健康保険組合（TEL 052-962-7741）までご連絡ください。

愛知紙商健保組合の財政を圧迫する支出増加の要因

● 保険給付費(医療費)と納付金(高齢者への支援金)が年々増加していることが愛知紙商健康保険組合の財政を圧迫している主な要因となっています。

	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)	6年度(予算)
保険給付費 (千円)	1,282,422	1,389,321	1,488,068	1,559,720

※ 人員の増加率に比べ、保険給付費の増加率がはるかに大きくなっています。

	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)	6年度(予算)
納付金 (千円)	923,689	992,073	1,250,049	1,157,565

※ 平成20年度にスタートした高齢者医療制度においては、高齢者の医療費を現役世代が支える新たな仕組みが導入され、愛知紙商健康保険組合の財政負担(国への納付金)も大幅に増加しています。

	3年度	4年度	5年度	6年度
健康保険料率	9.8%	9.8%	9.8%	10.0%

	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)	6年度(予算)
経常収入 (千円)	2,417,786	2,487,055	2,524,107	2,429,588
経常支出	2,346,456	2,529,577	2,905,817	2,906,522

	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(見込)	6年度(予算)
単年度収支差 (千円)	71,330	▲ 42,522	▲ 381,710	▲ 476,934

※ 平成25年度には経常収支改善のため、保険料率の大幅改定を実施いたしました。しかしながら、令和5年度では、納付金(高齢者への支援金)が前年度より約2.5億円増加し、単年度収支で約3億8,000万円の赤字となる見込です。

このような状況により、現在の保険料率では予算編成が難しいため、法定準備金の一部を取り崩すことや事業経費の見直しを行いましたが、それでもなお収入が不足するため、やむを得ず、保険料率の引き上げをお願いすることになりました。

今後も保険料率は上がるのですか？

高齢化などによる医療費の増加や現在の高齢者医療制度への財政負担（国への納付金）を考えますと、今後も保険料率の引き上げが避けられない状況です。

皆様の保険料負担をできるだけ軽減できるよう、愛知紙商健康保険組合では保険者として自ら実行できる対策に最大限努めてまいります。

しかしながら、医療費の抑制には、皆様のご協力が不可欠となります。

そこで、やむを得ずに病院等で受診する際に備えて、病院代の節約術を紹介させていただきます。この節約術は、皆様の自己負担を軽減する節約術であると同時に、愛知紙商健康保険組合の医療費を下げる節約術になっております。

● その1 「時間外受診」は高くつく

診療時間外の医療機関の受診には加算料金がつき、医療費が高くなります。深夜・休日にコンビニ感覚で受診するのはやめましょう。

● その2 大病院で予想外の出費！？

いきなり大病院を受診した場合、初診料に「特別料金」が加算されることがあります。軽い病気なら治療の差はありませんので、まずはかかりつけ医や近くの診療所などを受診しましょう。必要なら病院を紹介してもらえます。

● その3 「はしご受診」はムダだらけ

同じ病気の治療のために、複数の病院を渡り歩いて受診することを「はしご受診」といいます。病院を替えるたびに同じ検査や診療が行われることになり、医療費だけでなく、治療も長引き時間のムダにもなります。医師とのコミュニケーションを十分に図り、「はしご受診」は慎みましょう。

● その4 おトクな「ジェネリック医薬品」

医療機関で処方される薬のうち、同じ有効成分・同等の効き目で、従来の薬（新薬）より価格が安い薬「ジェネリック医薬品」があります。活用すれば、服用期間の長い人ほど医療費節減効果は大きくなります。自分の薬がジェネリック医薬品に替えられるかどうか、まずは医師等に相談してみましょう。

愛知紙商健康保険組合では、ジェネリック医薬品に切替えた場合に自己負担を軽減できる金額が比較的大きいと思われる方に、「ジェネリック医薬品差額通知」を配布しています。通知をもらった方は、この機会に是非ジェネリック医薬品の利用をご検討ください。